



## おばんざい

## 新年度を迎えて

ペンネーム ももちゃん

皆さんこんにちは。新年度を迎え、ちまたではぴっかぴかの1年生や、フレッシュマンも多く見かけられますが、皆さんの職場はどうですか？私の職場では、この度一気に新人が増えました。その数20数名…。すごいでしょ？

実はですね、この3月いっぱい、今まで3年間やってきた業者が撤退することになりまして、新しい業者が4月1日から入ったからなんです。実際のところ、15人程度のスタッフが一度に全員が1年生って想像できます？業者の本社の方からは、立ち上げ部隊として数人やってきてますが、その人達も私たちからすれば結局は1年生。1年生が1年生を教えるんですよ、どうなるかわかるでしょ？かといって仕事の内容や量は変わらないし…。残された正職員8名は、連日指導と自分の仕事におわれ、疲労とストレスにさいなまれています。愚痴・ぐち・グチ・GUTI……。

すこしすっきりしたところで、最近の食事情ですが、一連の偽装問題がある程度下火になってきたと思ったら、今度は中国製餃子の農薬混入問題へとますます食の安全性の崩壊がエスカレートしてきています。

産地のごまかしや冷凍物を生とって売るなんてのはまだかわいいもので、薬物混入となれば直接命を危険にさらすことになります。今のご時世危険だからと言って中国製品を完全に絶つことは不可能に近い状態です。

なぜこうなってしまったのか？作る側の責任ばかり問われていますが、本当にそうでしょうか？私たち消費者も、「安い」・「便利」にとらわれすぎた結果、国産原料は高い、正職員を雇うと人件費がかさむ…などなど、の理由で、業者は人件費や材料コストを抑える為に諸外国にたよらざるを得なかったのではないのでしょうか？

この状況って、病院給食の現状とよく似ていませんか？病院側は人件費などのコストを抑える為に、請負や派遣を推し進めてきてますが、その結果どうなったでしょう。患者さんにとって良い結果になったのでしょうか？全面委託化が進み、全て業者任せになると、今世間を騒がせている問題がそのまま病院給食にも反映されることにつながることは確実です。

私たちが今まで長年積み重ねてきた「患者さんへ安心・安全な食事を」の理念が根底から崩れ去ろうとしています。こんな時代だからこそ、病院に働くものとして、食の安全については単に中国製を使わないだけだけでなく、多方面から見直さなくてはいけない時ではないかと思えます。

栄養課以外の職員さんも、是非一度自分の病院の食事がどうなっているか気にしてみてください。きっといろんなことが見えてきますよ。



